

令和4年度第1回中央区在宅療養支援協議会 議事要旨

- 日 時 令和4年6月9日(木) 午後6時30分～
- 場 所 中央区保健所2階 大会議室
- 出席者 【委員】16名
山田 雅子(聖路加国際大学教授)
井関 栄三(日本橋医師会理事)
寺田 香織(京橋歯科医師会副会長)
関谷 治久(お江戸日本橋歯科医師会地域医療担当理事)
宮崎 夏樹(京橋薬剤師会副会長)
海老原 公代(日本橋薬剤師会理事)
宮崎 賢澄(中央区医師会)
小野 絵理子(中央区医師会訪問看護ステーションあかし所長)
寒河江 千智(医師会立中央区訪問看護ステーション管理者)
佐々木 佳子(聖路加国際病院訪問看護ステーション所長)
春日井 祥子(ケアプランエンゼル管理者)
富岡 真澄(アズミメディケアセンター東京管理者)
牧野 和子(京橋おとしより相談センター)
田中 智彦(福祉保健部長)
北澤 千恵子(高齢者施策推進室長)
渡瀬 博俊(保健所長)

《欠席者》 竹見 敏彦(中央区医師会理事)

【事務局】 福祉保健部管理課長、介護保険課長

●議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 中央区在宅療養支援協議会委員の解職と委嘱
- 4 高齢者施策推進室長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 令和3年度事業実績報告
 - (2) 令和4年度在宅療養支援研修(案)について
 - (3) 行方不明高齢者検索ネットワークのご案内
 - (4) 認知症ケアパスの修正について
 - (5) その他

議事の経過

1 中央区在宅療養支援協議会委員の解職と委嘱

- ・中央区主任ケアマネジャーの会推薦（主任ケアマネジャー）
令和4年5月1日付け 大内久美子委員⇒牧野和子委員
- ・高齢者施策推進室長
令和4年4月1日付け 吉田和子⇒北澤千恵子

2 議題（1）令和3年度事業実績報告および議題（2）令和4年度在宅療養支援研修（案）について

- ・資料1-1「令和3年度 緊急一時入院病床利用実績」
- ・資料1-2「令和3年度 在宅療養支援訪問看護の利用実績」
- ・資料1-3「令和3年度 医療ニーズの高い方向け緊急ショートステイの利用実績」
- ・資料1-4「令和3年度 おとしより相談センターの在宅療養相談窓口の実績」
- ・資料1-5「認知症初期集中支援チーム事業実施状況」
- ・資料1-6「認知症サポーター養成講座事業実施状況」
- ・資料1-7『「気軽に相談できる場（認知症カフェ等）」の実施状況』
- ・資料2「在宅療養支援研修実績一覧」
- ・資料3「令和4年度 在宅療養支援研修（案）」

事務局から令和3年度事業実績の報告および令和4年度の事業概要の説明を行った。

（緊急一時入院病床について）

- ・利用や申し込みの仕方について、どの程度周知できているか。
ケア倶楽部等、もう少し周知できる方法があると良い。
- ➡利用については主治医が本人または家族の了承を得て手配をしていただくことになっている。周知の方法についてはどのような形で行えるか検討していく。

（在宅療養支援の手引について）

- ・手引の見直しについてはいかがか。
- ➡平成30年3月に発行してから年数が経っているので、必要に応じて改正等もできればと思う。

（医療ニーズの高い方向け緊急ショートステイについて）

- ・もう少し周知をしていった方が良いのではないか。
- ➡ケア倶楽部や事業者連絡会等で周知しているが、ケアマネジャー等が集まる会議の機会を捉えて周知していく。

（在宅療養支援研修について）

- ・事業者向け研修は多職種連携となっているが、参加する職種に偏りがあるように思える。
- ➡ケア倶楽部を使って周知しているが、他の方法等も検討していく。

・周知を見ても意識をしなければそのまま流れてしまうものもあると思うので、多職種連携の意識づけの声かけ、参加するメリットを伝えたりしてもらえる機会があっても良いのではないかと思う。

（各事業利用実績（資料1-1～1-4）について）

- ・コロナ禍の中でこれだけの利用者がいたということは、成果のある事業をこの協議会のほうで決行してこられた10年の歩みがあることを感じた。この事業が区民に周知をされており、施設整備も有効なものとして働いていると感じた。

（認知症初期集中支援チーム事業実施状況について）

・最初に訪問して介入しても、本人から拒否されてしまうこともあり、医療や介護へ結びつけるのが難しい。

3 議題（3）行方不明高齢者検索ネットワークのご案内および議題（4）認知症ケアパスの修正について

- ・資料4「中央区行方不明高齢者検索ネットワークのご案内」
- ・資料5「中央区認知症ケアパス」

事務局から事業概要について説明を行った。

（行方不明高齢者検索ネットワークについて）

・行方不明の連絡を警察に申し出をしていないと検索メールの配信依頼はできないのか。
➡最初に行方不明の連絡を警察にさせていただき、次に介護保険課に検索メール配信依頼をする流れになる。

- ・協力者募集の目的のチラシなので利用者向けの情報が入っているのは分かりにくい。
➡表記の仕方を考える。

（認知症ケアパスについて）

・ケアパスの中に国の認知症施策推進大綱のどこに当たるのかポイントだけでも分かるように入ると良いと思う。
➡工夫できないか考えてみる。

（その他について）

・訪問看護ステーションでは真夏でもフル装備で対応するなど、この2年はコロナ対策で苦慮している。少しずつ解除できるものは解除していきたいと考えている。
また、今年には区が主催している連絡会を使ってBCPの情報交換を行う予定。

・おとしより相談センターでは昨年度災害をテーマにした資料を提供した。BCPの研修については地域のネットワークを活用して今後どのように行えば良いか模索していきたい。

・ケアマネジャーでは多職種の方が参加されていたシンポジウムで、様々な方と介護・医療の枠を超えた良い話し合いと情報共有ができた。

また、主任ケアマネジャーの会議の分科会にBCPの会があり、居宅介護支援としてどう動くのか、他の職種の方との連携が必要だと思う。その話し合いの中で中央区に住んでいる人の中央区で働いている率が他区に比べて低く、平日の日中と夜間、土日で支援者に差があるのではないかという意見が出ていた。

5 閉会

次回、令和4年度第2回の協議会は令和5年2月頃を予定。